よくわかる公共事業

令和
４
年度

新羽（向屋２）地区 がけ崩れ対策事業

政策１ 災害レジリエンスNo.1の実現

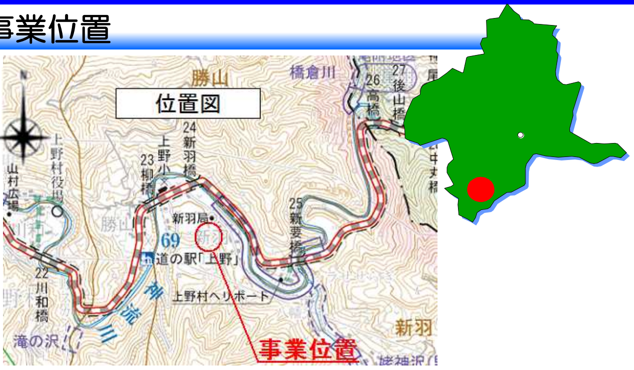
施策３：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

■所在地：上野村大字新羽
■事業内容：崩壊土砂防護柵工
■全体事業費：約３億円
■事業期間：令和元年度～令和6年度（8年間）
■保全対象：避難所　１箇所
　　　　　　人家　6戸

崩壊土砂防護柵とは、
　斜面から崩れ落ちる土砂を、鋼杭とフェンスで受け止め、被害を防止するものです。

事業位置


位置図
勝山
橋倉川
27 後山橋
26 高橋
24 新羽橋
23 柳橋
上野小
上野村役場
山村広場
新羽局
69
道の駅「上野」
25 新要橋
上野村ヘリポート
22 川和橋
神流川
滝の沢
新羽
中丸橋
事業位置

どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を
つくります

地元の声

・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。（近隣住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される避難所	０箇所	１箇所
保全される施設	０戸	6戸

実施前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。

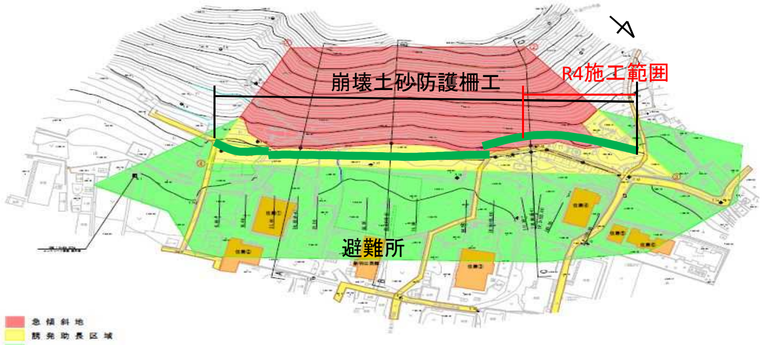
事業前の状況

実施後

◆がけ崩れの対策施設をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

事業後の状況（イメージ）

事業の進捗状況（R４年３月現在）


崩壊土砂防護柵工
R4施工範囲
避難所
急傾斜地
誘発助長区域

今、何をしているか

令和４年度は、用地買収を実施し、早期工事着工を図ります。

R4年度実施箇所

事業のすすみ具合

事業開始 ●━━━━━━━━━━━━・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・● 事業完了